

コロナ禍における神社実態調査の集計結果

令和2年5月実施

埼玉県神社庁

管内の宮司260人を対象に実態調査をお願いした所、121人の方からご回答を戴きました。

結果を見ますと、各社によって影響は様々でした。参拝者数は、大きく減少した神社と、変化なしや増加した神社がほぼ同数でした。日頃観光客で賑わう神社の参拝者が減る一方で、地元住民が氏神様へ参拝する機会が増えた様です。しかしながら、初宮参りなどの諸祈願や外祭などは程度の差はあるものの減少し、社入も減ったという結果でした。新型コロナウイルス感染予防対策については、大部分の神社で取り組んで戴きましたが、対策中も、更に有効な方法を模索した方が多いようです。秋から冬にかけて、各神社では多くの参拝者を迎えます。特に七五三や初詣の対応策について、不安を感じている方も多いのではないのでしょうか。神社庁としては執行部、役員会、教化委員会などで話し合いを重ね、今後の対応策について取り纏めたものをお示しする予定です。取り急ぎ本調査結果を参考に、当面の対応策をお考え戴ければ幸いです。記述での回答については、内容が重複しているものは一部割愛をさせて戴きました。また、言い回しや表現は回答をそのまま掲載しております。

本調査ではインターネットに関する調査も行いました。ほとんどのの方が身近にインターネット環境をお持ちですが、多くの方がメールなどによる神社庁からの発信やリモートによる研修には躊躇されている様です。しかしながら、既に電子メールによる通知に切り替えている支部もあり、各支部事務局の負担軽減のためにもインターネットを活用した発信は必要と考えます。さらに未だ感染症の終息が見えない中、神職の生涯教育を滞らせない為には、リモート研修導入も視野に入れざるを得ないと感じます。この度のアンケートの結果を踏まえパソコンやタブレットの操作方法に不慣れな方へは丁寧にサポートを行って参りたいと思います。神職各位におかれましては現況をご理解いただき、インターネット環境の整備にも意を注いでいただけますようお願い申し上げます。尚、今年度は従来の研修会の一部をZoomというWEB会議システムを利用して開催する予定です。

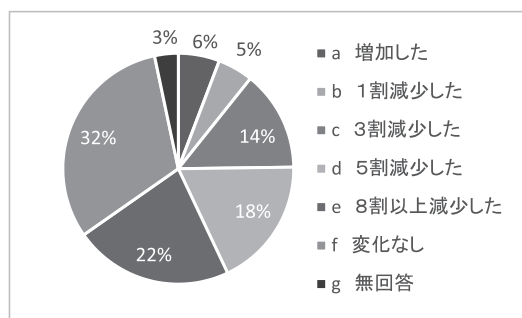
「新しい生活様式」が叫ばれる中、適切な参拝者の受け入れを模索し、神社護持に力を尽くさなければなりません。そのためにも必要な情報を迅速に伝達できるよう心掛けて参ります。今後ともご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

対象：宮司職（本務・兼務）			
支 部	依頼数	回答数	回答率(%)
北足立	39	14	36
入間東	23	12	52
入間西	35	23	66
比企	20	5	25
秩父	32	10	31
大里児玉	48	20	42
さきたま	33	16	48
埼玉東	30	19	63
不明		2	
合計	260	121	47

コロナ禍における神社実態調査の集計結果

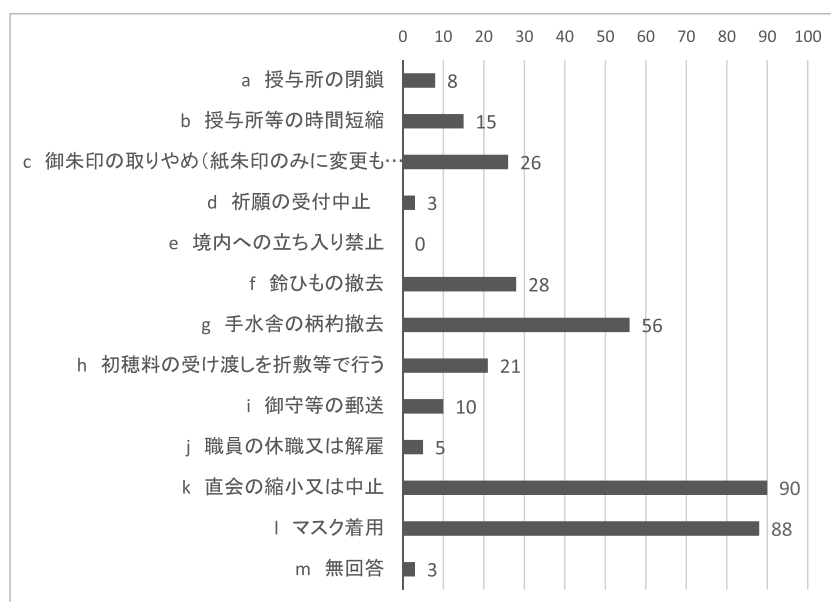
1、前年の同時期に比べ、参拝者数に変化はありますか？

a 増加した	7
b 1割減少した	6
c 3割減少した	17
d 5割減少した	22
e 8割以上減少した	27
f 変化なし	38
※ 無回答	4



2、新型コロナウイルス対策としてどのような対応をしていますか？（複数回答可）

a 授与所の閉鎖	8
b 授与所等の時間短縮	15
c 御朱印の取りやめ（紙朱印のみに変更も含む）	26
d 祈願の受付中止	3
e 境内への立ち入り禁止	0
f 鈴ひもの撤去	28
g 手水舎の柄杓撤去	56
h 初穂料の受け渡しを折敷等で行う	21
i 御守等の郵送	10
j 職員の休職又は解雇	5
k 直会の縮小又は中止	90
l マスク着用	88
※ 無回答	3



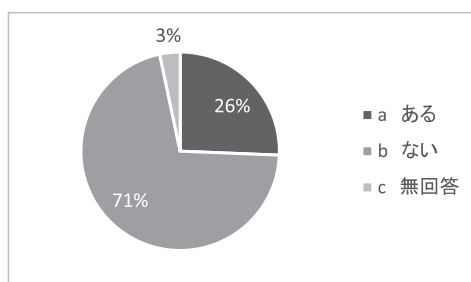
2-1、上記以外の対応があれば、詳しくご記入ください。

- ・茅の輪を設置
- ・新規に「朱札護符」を奉製し全氏子に無料頒布
- ・毎回祈願祭の折に疫病鎮静化を合せ祈る
- ・朝拝時の大祓詞奏上を一巻から二巻とし、世の中を祓い清める
- ・疫病除けに力のある境内社を毎日開けている
- ・「コロナ鎮静」の掲示を数か所設置した
- ・アルコール消毒の設置
- ・換気に注意している
- ・祈祷殿や待合所、記入所等のアルコール消毒を適宜実施する
- ・次亜塩素酸ナトリウムで参拝者が触れると考えられるもの（袋おみくじ、イス、机、ペン、拝殿内等）を適宜消毒の徹底
- ・飛沫感染防止の為、授与所・祈願受付へビニールシート設置
- ・授与所にビニールシートのカーテンを下げて対応している
- ・小銭の消毒
- ・1回の祈願の件数・人数制限
- ・祈願は時期をずらすよう勧める
- ・胡床の間隔を広めにあけている
- ・掲示板・ネットに注意喚起を掲載
- ・祈願は電話、メール受付で神札郵送
- ・祈願を30分間隔で一組のみ
- ・祈願時の玉串は手渡しせず、案においてあるものをご自身で手に取りお供えしてもらう
- ・人と人との間をあける事の呼びかけ看板
- ・人と人との距離を確保するための工夫
- ・祭典等は総代長、会計、自治会長等の代表者で行った
- ・昇殿人数の少数化（神職と総代のみ。祈願者のみ）
- ・例大祭の神祓い行事、神輿渡御、花火の自粛
- ・祈願以外にも文化財解説、祓を受ける為来る方少なくないが中止しています
- ・役員が集まる時も、三密を避けている
- ・氏子会費徴収（役員が回る）の時期延期
- ・集まる回数を減らしたり、延期している
- ・おみくじの授与中止
- ・勝運霊石（古墳の石）を撫でると勝運に恵まれるという信仰があるが、この勝石を白ビニールで包み込み、説明を添えて接触できないようにしている
- ・祭典以外は全て中止しました
- ・年祭等（故人の）について、延期してもらい、3年祭、5年祭に以降してもらう
- ・定期役員会の中止
- ・業者等との打合せ中止
- ・職員の出社制限
- ・トイレの使用停止
- ・喫茶部の休業
- ・本、新聞の撤去

コロナ禍における神社実態調査の集計結果

3、氏子・崇敬者等から新型コロナウイルス対策を求められたことはありますか？

a	ある	31
b	ない	86
※	無回答	4

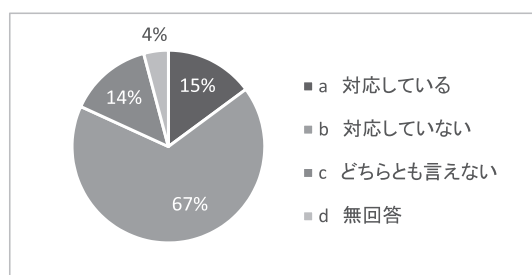


3-1、どのような内容ですか？

- ・祭典の縮小化
- ・全体的な縮小・中止
- ・祭典時の人数について相談
- ・例祭での受付の三密回避
- ・疫神祭（子供の参加を求めない）
- ・祭典参列者の制限。中止の要請
- ・春祭りへの参列の件、参列が密になるので、ならないよう様、参加人数を制限
- ・拝殿への出席者の制限、直会の中止等
- ・昇殿略儀にて神札授与（祈願者昇殿せず祈願奉仕）
- ・総会の中止
- ・兼務社で例祭日を二ヶ月延期
- ・講社世話人会の延期・縮小など
- ・講社参拝の中止
- ・神札等の郵送など
- ・祭準備会議等の時間短縮
- ・感染防止対策について
- ・マスクの着用 神社側は全員マスクを着用する
- ・消毒液 数か所に置く
- ・飛沫感染対策 お札を頒布する時、ビニールを吊るす
- ・清掃奉仕の自粛
- ・露店を閉めるようにと言われた（匿名の手紙で）
- ・境内清掃をしていたらマスクを着けるようにと言われた

4、新型コロナウイルスで参拝できない方へ御守の授与や祈願等で特別な対応をしていますか？

a	対応している	18
b	対応していない	81
c	どちらとも言えない	17
※	無回答	5

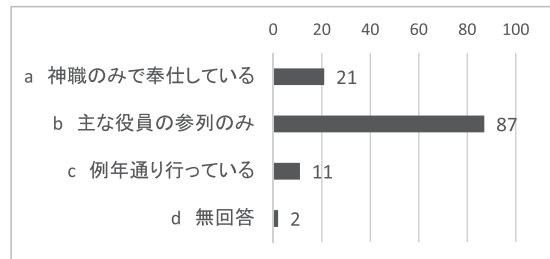


4-1、どのような対応をしていますか？

- ・御朱印の郵送
- ・お守、神札等の郵送
- ・玉串料のお返しとして、ご神札を郵送する
- ・祈願では密を避ける。神札、御守等は郵送する
- ・祈願はメール、TELで受付
- ・ホームページに神職の連絡先を掲載し、祈願等を個別に受けている

5、祭典（例祭や恒例祭）の参列状況について

a 神職のみで奉仕している	21
b 主な役員の参列のみ	87
c 例年通り行っている	11
※ 無回答	2



6、祭典の規模縮小及び中止の場合、具体的にどのような対応をしていますか？

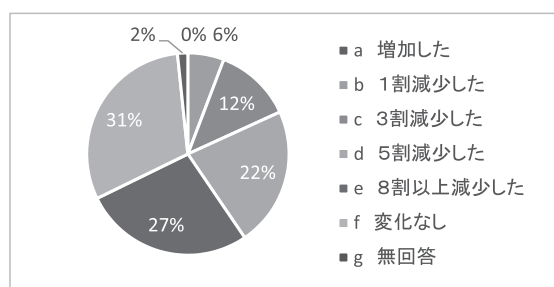
- ・神社の神事については、神職、責任役員、総代の代表のみ
- ・一般の氏子、崇敬者や子供の参加する行事は中止
- ・境内神社の夏祭りや神輿渡御が中止（7月第2土日）
- ・直会の中止
- ・兼務社の例祭中止
- ・三密を避けるような形で対応
- ・一か月前に判断する
- ・例祭案内状を出している方には手紙で知らせた
- ・昇殿人数の縮小
- ・玉串奉奠時に列後参拝の役員は前庭にて参列
- ・神職のみ社殿内へ、参列者は境内にて立礼
- ・祭祀は例年の通り執行。全員マスク着用（奉仕神職含む）。社務所での直会中止（但し、社殿にて紙コップで神酒拝戴）。各社ともに神賑行事は中止。祭典ごとの御神札は授与する
- ・助勤神職をナシとする。来賓参列者をナシとする。露店、神賑行事をナシとする
- ・夏祭りを神事のみ
- ・献幣使、助勤参向の取りやめ
- ・直会は通常通り行い退出
- ・諸行事（お店、出し物等）の中止
- ・HP等での中止の報告。文書の送付
- ・獅子舞、山車の中止
- ・祭典時間の短縮（神饌物供え付、玉串拝礼者数の減等）
- ・中止→宮司と総代長のみで実施
- ・祭典を合わせて執行し、祭典回数をへらす
- ・花火を縮小

コロナ禍における神社実態調査の集計結果

- ・来賓者の席を充分にとる。（間隔をとる）
- ・修祓は所定の場所に着席してから開始する
- ・玉串奉奠の工夫をする
- ・主な役員は参列、他の人は社殿の外で参加、間隔を空けて立っていただく。神職はマスクをして祭典を行う
- ・神社関係者（責任役員、総代）と相談し、地域の方に放送や回覧で連絡する
- ・役員祭典員代表のみ参集し早期に会議「山車・神輿等」中止、「感染者が出たら」例祭も延期とする。但し神札配布は時間差を設ける。早期に社頭に掲示する位しかできていないです
- ・不定期の延期
- ・三密を守り、間隔を1.8Mとり境内で行う。なお神事だけ行う
- ・社殿が狭い神社では、参列者の何人かは外で参列してもらい、玉串拝礼の時のみ社殿内に入ってお参りしています
- ・三密を避けて、参列者を役員のみ、献饌、撤饌を略す
- ・玉串奉奠は宮司と氏子総代長の2人とした
- ・催し物（お囃子、巫女舞）の中止、おもてなし（餅つき、ヨーヨー釣り、射的、乗馬など）の中止

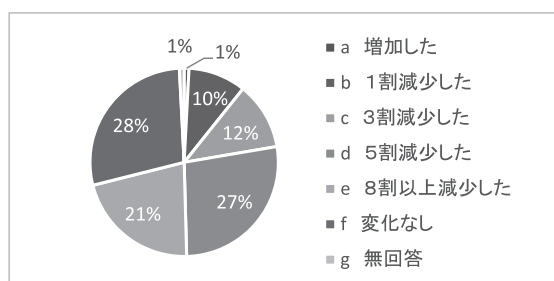
7、前年の同時期に比べ、祈願数に影響はありますか？

a 増加した	0
b 1割減少した	7
c 3割減少した	15
d 5割減少した	27
e 8割以上減少した	33
f 変化なし	37
※ 無回答	2



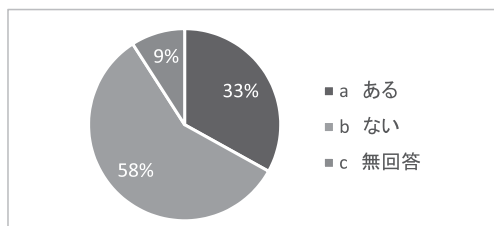
8、前年の同時期に比べ、外祭数に影響はありますか？

a 増加した	1
b 10%減少した	12
c 30%減少した	14
d 50%減少した	33
e 80%以上減少した	26
f 変化なし	34
※ 無回答	1



9、助勤神職の依頼人数に影響はありますか？

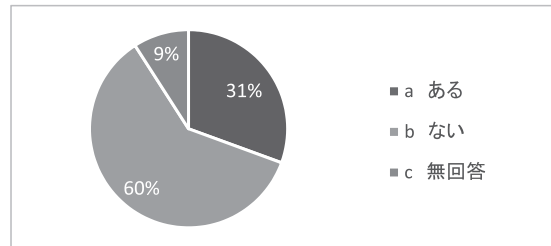
a ある	40
b ない	70
※ 無回答	11



コロナ禍における神社実態調査の集計結果

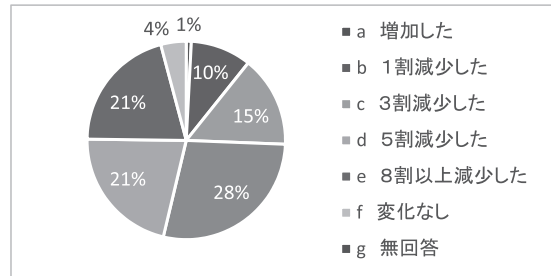
10、他社に助勤に呼ばれる回数に影響はありましたか？

a	ある	37
b	ない	73
※	無回答	11



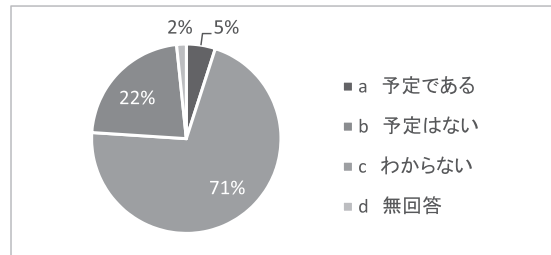
11、前年の同時期に比べ、社入に影響がありましたか？

a	増加した	1
b	10%減少した	12
c	30%減少した	18
d	50%減少した	34
e	80%以上減少した	26
f	変化なし	25
※	無回答	5



12、新型コロナウイルスにおける公的支援制度（雇用調整助成金等）を活用する予定ですか？

a	予定である	6
b	予定はない	86
c	わからない	27
※	無回答	2



12-1、どのような公的支援制度を活用予定ですか？詳しくご記入ください。

- ・ 持続化給付金
- ・ 償却資産及び事業家屋に関わる固定資産税及び都市計画税の軽減措置
- ・ 雇用調整助成金を
- ・ 出来る全ての援助は受けたいと思っているが、神職に当てはまるケースがどれなのか難しく思っている
- ・ 対象にならないため（なるのか不明）、今のところなし
- ・ もう少し、詳しく神社本庁及び神社庁より説明をして戴きたい
- ・ 国からの宗教法人に対応する支援はあるのですか？教えてください
- ・ 本庁から負担金減免で対応してもらいたい。社入が減って困っている

13、新型コロナウイルス対策について、神社庁に要望する事がございますか？あればその内容をご記入ください。

- ・ 郵送祈願や授与品の郵送のフォーマットの作成。また、それによって伴う弊害の取締り
- ・ 一般向けの情報発信
- ・ PCの操作に不慣れな神職へのサポート
- ・ 県内も含め他の神社の対応策などの情報を教えて頂けると有難い

コロナ禍における神社実態調査の集計結果

- ・県内外の各神社のコロナ対策を箇条書きでも良いので、わかる範囲でわかりやすくお教え、お伝え頂きたい
- ・負担金の2割減額についてですが、庁職員の賞与をカットしてまで行う必要があるのかと思う。本庁の負担金の減額を要求して下さい。減額分が職員の賞与では素直に喜べません
- ・助成金
- ・負担金等の本年度減額等、金銭面での援助
- ・小さな神社（兼務社）の存続の危機への対策
- ・強制的かどうかは問わないが、神社界としてどうするべきかを具体的に姿勢の在り方（授与所の閉鎖等）
- ・公的支援制度で神職はどれを活用できるのかを教えて欲しい
- ・アルコール消毒液やマスクについては、末端神社ともなると入手が難しい。今後も新型コロナウイルスが続くなかで、もし余力があれば分けて戴けるとありがたい
- ・早めに中止や延期の連絡を（支部経由ではなく、FAXや郵送等でダイレクトに）
- ・古来からの疫病退散の意味をわかりやすく氏子・崇敬者に伝えられるポスター・パンフレットがあると、神職としては祭典の中止を少しでもやわらげることができる
- ・3月末は、神社庁から例大祭の中止指示が出れば良いとも考えました。特に指示がなかったため総代長を中心として何回も会議を開き、例大祭の実施方法（出席者、参列の位置、配置、直会など）を打合せて決めました。今は自分たちで話し合って決定したことが良かったと思います
- ・大幅な減収となるので、本来神社としての役割（各地域の文化や伝統を守り、活性化を図る）が出来にくくなる。活動を円滑にするために、特別給与金のようなものが欲しい
- ・新しい情報の連絡をこれからもお願いします
- ・対策を講じながらも、祭典・神事は最低限厳粛に執行すべき旨をハッキリ文章他、発信してほしい
- ・通知等は早めに出して戴いていますが、支部、区等に届くのが時間がかかる
- ・研修会、支部役員会、支部総会の中止はありがたく、うれしい
- ・社会的職に就く方もそうですが、（ほとんどの神職・神社関係者）はこれから先の見えない生活におびえています。社入、生活費等現場の意見は大切です。例えば神社負担金についても（減額等）見直しが必要なのでは？
- ・負担金の免除
- ・この感染症についての正しい知識を示してほしい
- ・県内神社の対策実例をとりまとめて通知してほしい。参考にしたい
- ・宗教法人が活用できる公的支援制度の情報共有、大まかな事務手続の補助
- ・今後の影響を考えた対応を考案していきたい。七五三、正月の対応について
- ・WEB研修でも、研修修了証が出る様にご検討下さい
- ・手水舎はどうすればいいか？無人神社でも、参拝しますので、水を止めるのが良いのか？
- ・各神社の対応状況（祈願、御朱印、手水等）を知らせて頂ければ助かります
- ・持続化給付金の支給対象に宗教法人が入らないことになったが、その理由を説明する様に行政へ求めていってもらいたい。→政府の意向を組んで「三密」対策や様々な自粛をしているのにおかしいと思う

14、新型コロナウイルス対策で今後神職として取り組んでいくべき事がありますか？神職間で情報共有したいこと等、設問にあげていないことで意見や質問等ありましたら、ご記入ください。

- ・悪疫退散の祈願

コロナ禍における神社実態調査の集計結果

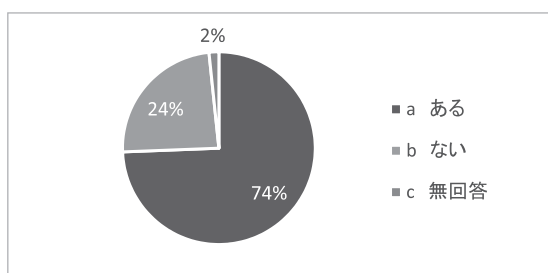
- ・夏の八坂祭の神事にて、八坂祭祝詞に続けて感染症完全鎮静化祈願の祝詞をあげることを考えています。見本（例文）があれば大いに助かります
- ・今後このような感染症の発生は大いに予想できる。それに備えて今から準備しておくことが肝要と感ずる
- ・埼玉県神社庁としてこのようなアンケートを取られたことが素晴らしいと思う。回答公開を楽しみにしています
- ・神社が住人の「心の支え」になれる様に工夫する
- ・コロナ禍の不安の支えになれる様、安心に近づける様、神社の雰囲気をつくる
- ・アマビエをはじめ、妖怪を活用するなど、疫病を楽しくする工夫をする
- ・祈りの場としての神社の意識を大切に、日々祈りを捧げていくこと
- ・神事の際、神社関係者のみで行っているが、参列者全員がマスクをしているが、神職がマスクをするべきなのか迷ってしまう
- ・神事の際、玉串奉奠の手渡し、献饌の手渡し等が密接になりはしないか？
- ・入学祭をいくつかの神社で実施しているが、今年は全て中止となり、今後の事が気がかりである
- ・祈りを捧げる者、神職である私たちはまず「世界中」が一日も早く平穏な日々になることをお祈りしていくことが一番大切であると考えている。コロナ対策を万全に行うことはもちろんだが、亡くなられた方の御霊の安らかなること、罹患されている方の平癒、最前線で医療に従事されている方々、お仕事に携わる方への感謝とともに、日本だけでなく、世界の安寧を祈ることがこれからもっと大事にしていくことと感じている
- ・他の神社でどのような対策を行っているのか。（特に氏子会費の徴収）
- ・神職間での情報共有。（支部活動がなく、参加も出来ないため機会がない）
- ・氏子崇敬者の神社ばなれ対策（①役員総代やだ ②奉納金やだ ③行事参加やだ）
- ・神社維持管理、まつりの奉納金の集金等は全て神職が行う事が当たり前だとの風潮が高まる傾向。対応を
- ・年末年始対応（正月の対応）
- ・感染症とは長い間の付き合いが考えられる。一時凌ぎでない対策は？
- ・祈願方法
- ・祭典方法（参列者・神楽奉納・直会等）
- ・日々の社入を如何に計るかにつikir
- ・3月～4月には、神職間で電話を利用した情報交換をしました。5月13日秩父支部の神職例会でもいろいろな意見が出ましたが、13項でも書きました通り、最終的には宮司・総代で意見をまとめる（責任も負う）他に方法はないと討議を聞いていても思いました
- ・神宮大麻の授与価格を統一して高くする
- ・情報交換を行う機会が必要です。つまり各神社の取り組み状況を参考にしたいと思います
- ・神職は人に接することが多いですが、PCR抗体検査が神社庁が促進できませんか
- ・情報は伝わっている
- ・現状を鑑みると、神職・神社がコロナウイルスと共有し、神社運営を盛り上げる（景気を回復すること）は全く想像が出来ません。常に神職間では情報共有していますが、現在の回答は皆さん「無理ですね」となります。逆に同じ質問を神社本庁、神社庁にしてみたいです
- ・神社本庁、神社庁より良きアドバイスをお願いしたい
- ・書類やインターネットで出来ることもあると思うが、集まって協議しないとまとまらない場合もあると思う

コロナ禍における神社実態調査の集計結果

- ・自粛や予防と宗教活動や一般生活を行う上でのバランス
- ・専門家会議の提言の実践
- ・昇殿者の数
- ・日常からの対応
- ・既に行っている。神社庁が現場を知らないだけ
- ・御守の郵送を行っているところがあるらしいのですが、新型コロナウイルス対策をきっかけに今後もなし崩しになることを危惧します
- ・IT導入は賛成ですが、たとえば氏子総代会等の参加者表すらデータ添付メールでやり取りできないアナログな支部の状況から、いきなりネット駆使の今時のやり方を導入するのは無理があると思います。ハードの整備、セットアップ等クリアできればネット会議や通知閲覧は比較的楽かもしれませんが、神職・神社の情報収集力格差や神社庁への関心離れがより進むかもしれません
- ・感染者が（クラスターが）出ていない地域の為か、町の食堂は賑い、境内で遊びも少なくな。何か見落としがないか、アンケートの結果を見て、もし第二波が来るなら再考しなければ
- ・もともと参拝の多い社と、そうでない境内外末社など、格差が拡大した気がする
- ・露店商への対応事例が知りたい
- ・兼務神社でも神賑行事の中止による参詣者減少の為、奉納金が無くなり大幅減収している。夏以降も既に中止を決定している処があり、影響を懸念している
- ・兼務社の祭典を中止するのではなく、縮小しての開催は必ず行う様に全神職共有認識とする
- ・神宮大麻の返金額を増す事の検討（今期限定とか?）
- ・恒例祭事については、神職のみでも実施すべきと考える
- ・神社境内地の管理状況を再確認すると共に、氏子崇敬者の方々に対して、広報活動の展開を考える時間としたい
- ・自粛圧力がかった世の中にあっても神々のお力を頂きたいと思う氏子・崇敬者がいることを真摯に受けとめ、神職として覚悟を持って神明奉仕に取り組むべき。「アフターコロナ」の世界では、日本的生き方、とくに「神道的生き方＝敬神生活」が見直される。手洗いは手水の変形、ケガレを水に流す思想、キスやハグではなくお辞儀（礼）をもって挨拶する。ソーシャルディスタンス？そりゃ「間合い」と言うものです。例え疫病によって各国が国境を閉ざしても、自国を大切にしながら「世界の共存共栄」を祈っているのです。こんな素晴らしい生き方を今していることに自信と誇りを持つべきだと思います
- ・質問20に関連して、神社庁から直接に連絡が来るのは賛成です。これによりペーパーレス化、事務連絡のスピード化、支部事務局の負担軽減につながり、今後神職数も減ることが予想されるので、“支部の在り方も今までと変わってくるのかな”と感じています

15、神社や自宅にインターネットを利用できる環境がありますか？

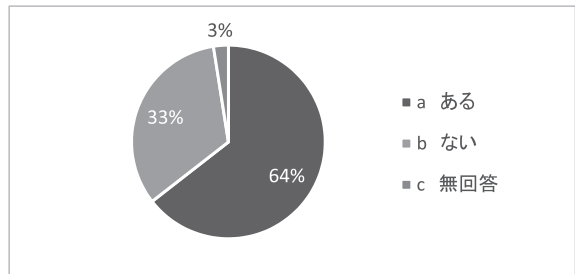
a	ある	90
b	ない	29
※	無回答	2



コロナ禍における神社実態調査の集計結果

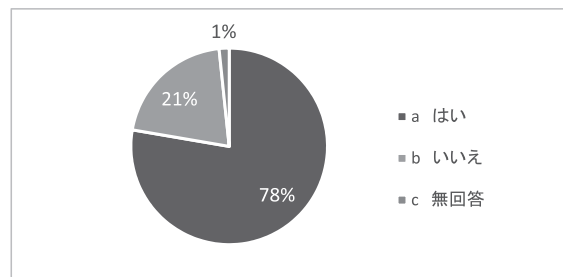
16、神社や自宅にWi-Fiを利用できる環境がありますか？

a	ある	78
b	ない	40
※	無回答	3

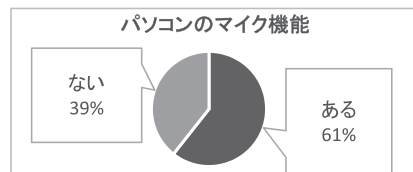


17、パソコン（デスクトップ、ノート）をお持ちで、マイクやカメラの機能はありますか？

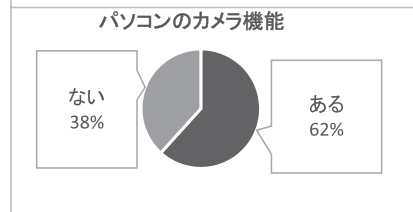
・パソコン		
a	はい	94
b	いいえ	25
※	無回答	2



・マイク機能		
a	ある	57
b	ない	55
※	無回答	9

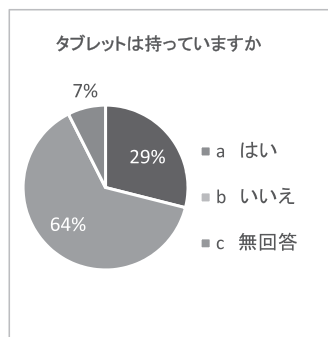


・カメラ機能		
a	ある	58
b	ない	54
※	無回答	9

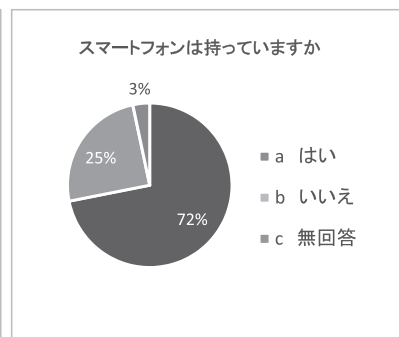


18、タブレットまたはスマートフォンをお持ちですか？

・タブレット		
a	はい	35
b	いいえ	77
※	無回答	9



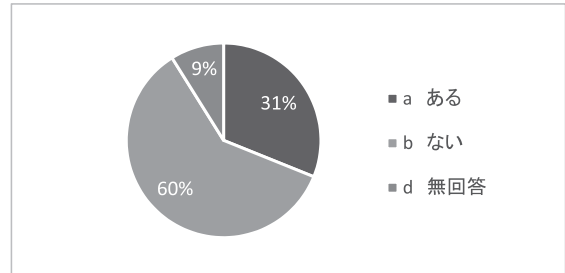
・スマートフォン		
a	はい	87
b	いいえ	30
※	無回答	4



コロナ禍における神社実態調査の集計結果

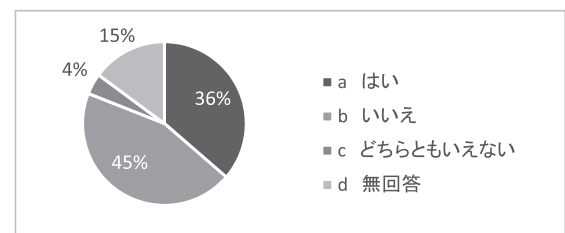
19、インターネットのご利用プランや料金によって、データ通信量が制限されていることがあります。現在の通信量に制限はありますか？

a	ある	28
b	ない	54
※	無回答	8



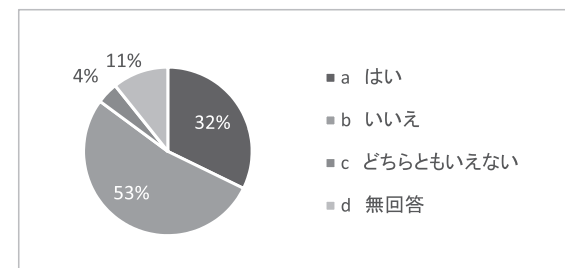
20、神社庁からのお知らせをインターネットを利用した方法に変えた方が良いと思いますか？

a	はい	44
b	いいえ	54
	どちらともいえない	5
※	無回答	18



21、研修をインターネットを利用したりリモート研修にした場合、参加したいと思いますか？

a	はい	39
b	いいえ	64
	どちらともいえない	5
※	無回答	13



22、ご家族等近い方にインターネット環境作りのサポートをお願いすることの出来る人がいますか？

a	はい	60
b	いいえ	57
※	無回答	4

